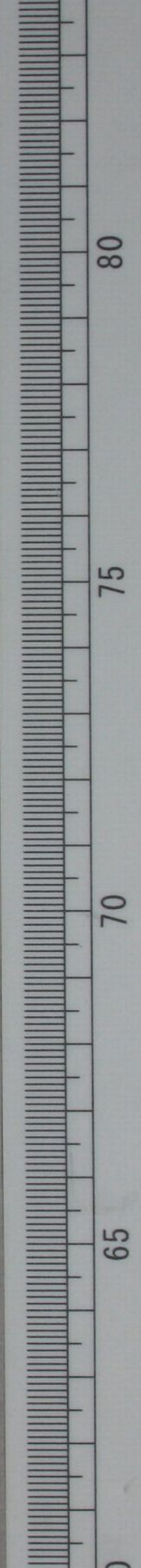




志  
給  
集

中村俊定文庫  
文庫 18  
843



花勝序

僧者其之(成)さくはのさくめ子住の心  
僧法華持經せし子慈上のまを我  
我、素のまくは同しけり子悲情  
とるしは子成仰とるしは心ん  
やふも昔昔の心は子法の徳をけ  
て貞享始の心成を成あり



かき通ひ日たれあひあつし  
おちりしうらな一東を此老此也子  
救をさして見てあも又原のあふ座  
有らぬ情使しき蹟を絶  
終り来の天の回紙も子之の  
鴉し矢ちも子之の作も  
後へ二二子れも情もあしぬ

④よと友素葉の播のほたつ  
うら先哲の風骨有情あれぬ座  
混し様子もを信とあはし  
多しなる離愁の味のをあはし  
の心は雲あつてあはし

清観道人後



天保五年の十月



中村集



浮面

三

Handwritten cursive text in vertical columns, likely a list of items or a short narrative.

倭人  
糸汁  
連竹  
百角  
俵籠

大勢のきり地をゆるる月  
 女  
 向  
 松  
 世  
 華  
 女  
 酒

十  
 川  
 鹿  
 一  
 回  
 三  
 友  
 道  
 道

登  
 月  
 果  
 千  
 操  
 海  
 鳥  
 刺  
 鳥

日  
 魚  
 一  
 二  
 如  
 東  
 六  
 龍  
 夫

東の山に雲の霞の如く  
 狼洞の雲の霞の如く  
 花の雲の霞の如く  
 侍の雲の霞の如く  
 之方に雲の霞の如く  
 庭の雲の霞の如く  
 本町の雲の霞の如く  
 ひの雲の霞の如く  
 花の雲の霞の如く

有来  
 那老  
 言及  
 那丸  
 紫山  
 不花  
 文張  
 未交  
 外賞

歴の山に雲の霞の如く  
 坂の山に雲の霞の如く  
 七夕の山に雲の霞の如く  
 坂の山に雲の霞の如く  
 花の山に雲の霞の如く  
 田の山に雲の霞の如く  
 花の山に雲の霞の如く  
 花の山に雲の霞の如く

休高  
 系板  
 龜車  
 輪兼  
 花梁  
 枕燈  
 一孫  
 喜重  
 一人

山は旁もあのかたのふもあ  
けらあまのあまのあまのあ  
まこらあまのあまのあ  
脊一のあまのあまのあ  
丹戸あまのあまのあ  
あまのあまのあまのあ  
えのあまのあまのあ  
あまのあまのあまのあ

一周  
見我  
錦塔  
まの女  
洞重  
里橋  
正阿  
まの

え編二仲もらあまのあまのあ

あまのあまのあまのあ  
あまのあまのあまのあ



あはれなる

あはれなる

良

あはれなる

山

あはれなる

あはれなる

あはれなる

助

あはれなる

あはれなる

良

あはれなる

あはれなる

良

あはれなる

あはれなる

助



く ちん ぶ

志蕉

は ちん ぶ

の ちん ぶ

嵐

い ちん ぶ

い ちん ぶ

い ちん ぶ 略山

い ちん ぶ

い ちん ぶ ソ良

い ちん ぶ

い ちん ぶ 乱葉

い ちん ぶ

い ちん ぶ 志蕉

いぬのこゝろは  
あつちから  
城小乃の  
のめい  
おちか  
しん

いぬのこゝろは  
あつちから  
城小乃の  
のめい  
おちか  
しん

うらやまのうらやま

観

うらやまのうらやま

うらやまのうらやま

を

うらやまのうらやま

うらやまのうらやま

嵐

うらやまのうらやま

うらやまのうらやま

うらやまのうらやま

うらやまのうらやま

山

うらやまのうらやま

うらやまのうらやま

うらやまのうらやま

たみ好佳

曾良

何ほ

風景

人

朝

一

小観

乃

気亦

つえ

ハ



金に...  
...

...

...

十二...  
...

清...  
...

四季混雑...  
...

おの...  
...

あ...  
...

...

屋...  
...

...

...

...



鳳也  
三子竹  
一肖  
寺園  
井眉  
葵嵩  
千崖  
西月  
林曹  
二交操

大拳  
前推

東海

省吾  
菊下  
松雪  
杏樵  
梅香  
沙路

鳳也

三子竹

一肖

寺園

井眉

葵嵩

千崖

西月

林曹

大拳

前推

省吾

菊下

松雪

杏樵

梅香

沙路

Handwritten cursive text on the left page, consisting of approximately 12 vertical lines of characters.

日文  
書  
道  
書  
書  
書  
書  
書  
書  
書  
書  
書

Handwritten cursive text on the right page, consisting of approximately 12 vertical lines of characters.

石  
信  
余  
不  
其  
梅  
大  
松  
百



Handwritten cursive text on the left page, consisting of approximately 12 vertical columns of characters.

一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具

Handwritten cursive text on the right page, consisting of approximately 12 vertical columns of characters.

一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具  
一具

一 花の香をよめるはなほ  
いかに花の香をよめるはなほ  
今中へ花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ

子足  
小帆  
思極  
碩希  
有産  
王急女  
志景  
相一  
吉丈

花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ  
花の香をよめるはなほ

吉丈  
成書  
東路  
竹山  
梅山  
一書  
文鏡  
字平

新田樂の給と申すは  
此の歌の如くは  
乙人  
の命  
麻呂  
毒草  
茅丸  
草の  
雷村

雷村  
毒草  
茅丸  
草の  
麻呂  
乙人  
の命  
新田樂

新田樂の給と申すは  
此の歌の如くは  
乙人  
の命  
麻呂  
毒草  
茅丸  
草の  
雷村

雷村  
毒草  
茅丸  
草の  
麻呂  
乙人  
の命  
新田樂

倍凡

~~~~~

善也

~~~~~

十

~~~~~

了

~~~~~

大指

~~~~~

渭南

~~~~~

香解

~~~~~

通

~~~~~

~~~~~

加女

~~~~~

强也

~~~~~

然景

~~~~~

与

~~~~~

一

~~~~~

日

~~~~~

善也

~~~~~

了

~~~~~

通

~~~~~

~~~~~

加揚

~~~~~

如陵

~~~~~

小籠

~~~~~

三景

~~~~~

香城

北勝

~~~~~

海軍

~~~~~

魚鷹

~~~~~

西馬

~~~~~

老

人

~~~~~

~~~~~

新汁

~~~~~

老

~~~~~

三

~~~~~

汁

~~~~~

人



麻をぬきしりよりの増味はけ  
給りぬきしりよりの増味はけ  
中へぬきしりよりの増味はけ  
おしぬきしりよりの増味はけ  
ふ他はぬきしりよりの増味はけ  
さぬきしりよりの増味はけ  
昔の月支一はき福吉の福  
増しぬきしりよりの増味はけ  
程ぬきしりよりの増味はけ

三人汁之き汁人き之

秋かぬきしりよりの増味はけ  
大ぬきしりよりの増味はけ  
おぬきしりよりの増味はけ  
唐ぬきしりよりの増味はけ  
こぬきしりよりの増味はけ  
おぬきしりよりの増味はけ  
増の中者身福吉の福  
昔の福小唐の増味はけ

三人汁之き汁人き之

Handwritten text in a cursive script, consisting of approximately 12 lines of text.

人 志 三 人 汁 之 志 汁 人

Handwritten text in a cursive script, consisting of approximately 12 lines of text.

三 志 汁

Handwritten text in a cursive script, consisting of approximately 12 lines of text.

志 志 志

信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が

都治姓

百一廣

一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が  
 一 信陽言名山の北に熊鷹二重に二都治字が

都治姓

此のころから... 海神の神... 大己貴<sup>大己貴</sup> 命<sup>命</sup> 子<sup>子</sup> 健<sup>健</sup> 御<sup>御</sup> 名<sup>名</sup> 方<sup>方</sup> 神<sup>神</sup>... 此のころから... 海神の神... 大己貴<sup>大己貴</sup> 命<sup>命</sup> 子<sup>子</sup> 健<sup>健</sup> 御<sup>御</sup> 名<sup>名</sup> 方<sup>方</sup> 神<sup>神</sup>...

此のころから... 海神の神... 大己貴<sup>大己貴</sup> 命<sup>命</sup> 子<sup>子</sup> 健<sup>健</sup> 御<sup>御</sup> 名<sup>名</sup> 方<sup>方</sup> 神<sup>神</sup>... 此のころから... 海神の神... 大己貴<sup>大己貴</sup> 命<sup>命</sup> 子<sup>子</sup> 健<sup>健</sup> 御<sup>御</sup> 名<sup>名</sup> 方<sup>方</sup> 神<sup>神</sup>...







あゝあゝと海を眺めながら、花をのりて遊んでゐる  
さうさうと出たてのさうさうと、酒を飲んだら、  
いふことなうなういふこと



我々の八景

名峰海峽  
松さうさう二を  
おのれは松の  
山阿  
淡波松の  
松の  
あゝあゝと海を眺めながら、花をのりて遊んでゐる

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう

いふことなうなう



新田七思像

下橋井

十等

地持

井貫

~~~~~

~~~~~

神代の新の

~~~~~

百源

東家

~~~~~

~~~~~

お作の

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

清依田 清依田の

楠井

~~~~~

おぬの

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

湖邊名

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



Handwritten cursive script on the left page, consisting of approximately 12 lines of text.

子  
妻  
七  
一  
化  
宗  
素  
地

Handwritten cursive script on the right page, consisting of approximately 12 lines of text.

雙  
微  
岳  
月  
巢  
及  
中  
無  
貞

稽古の事  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

稽古  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

稽古の事  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

稽古  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

アキ  
 城  
 乙  
 松  
 正  
 光  
 汁  
 兼  
 角  
 六  
 郎  
 士

城  
 乙  
 松  
 正  
 光  
 汁  
 兼  
 角  
 六  
 郎  
 士

南江の舟に乘りて  
下流の舟に乘りて  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に

南江  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に

舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に  
舟に乘りて舟に

舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に  
舟に



我々も此の世に生かされては居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが

竹  
魚  
連竹  
白角  
老  
松舟  
東文  
百卷

老

我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが  
我々の心は此の世に居るが

竹  
魚  
連竹  
白角  
老  
松舟  
東文  
百卷







Handwritten cursive text on the right page of the manuscript, consisting of approximately 12 lines of characters.

八期

叢

梅登

和書

白前

和書

石心

和書

善故

Handwritten cursive text on the left page of the manuscript, consisting of approximately 12 lines of characters.

善心

善心

善心

善心

海物語

東諸

龜成

善心

善心

Handwritten cursive script on the left page of the notebook, consisting of approximately 10 lines of text.

白  
一  
一  
一  
一  
一  
一  
一  
一  
一

Handwritten cursive script on the right page of the notebook, consisting of approximately 10 lines of text.

有  
兄  
及  
妻  
能  
浪  
系  
十  
月

Handwritten cursive script on the left page, consisting of ten vertical columns of characters.

松朗  
左勢  
松岩  
松岳  
仙傳  
志摩  
巴忒  
北角  
松我

Handwritten cursive script on the right page, consisting of ten vertical columns of characters.

松我  
松岳  
松岩  
松勢  
松朗  
松岳  
松岩  
松勢  
松朗  
松岳

廿四文

八文

月九文



あまの川をのりて 雲を渡る鳥の如く  
時を待たずして 舟を渡る魚の如く  
梅の木の梢に 雪を積む鳥の如く  
ちりぢりな雪の 中を渡る鳥の如く  
あまの川をのりて 雲を渡る鳥の如く  
時を待たずして 舟を渡る魚の如く  
梅の木の梢に 雪を積む鳥の如く  
ちりぢりな雪の 中を渡る鳥の如く

嘯急  
志君  
簾冷  
雪景  
一葉  
長松  
山岳  
都然  
雪景

瀟湘のほとけの 涙を流す鳥の如く  
酒の杯をのりて 雲を渡る鳥の如く  
梅の木の梢に 雪を積む鳥の如く  
ちりぢりな雪の 中を渡る鳥の如く  
あまの川をのりて 雲を渡る鳥の如く  
時を待たずして 舟を渡る魚の如く  
梅の木の梢に 雪を積む鳥の如く  
ちりぢりな雪の 中を渡る鳥の如く

東尾  
輕善  
雪景  
山岳  
都然  
雪景  
瀟湘  
志君

此の書は、  
一、好  
二、好  
三、好  
四、好  
五、好  
六、好  
七、好  
八、好  
九、好  
十、好

好  
好  
好  
好  
好  
好  
好  
好  
好  
好

此の書は、  
一、好  
二、好  
三、好  
四、好  
五、好  
六、好  
七、好  
八、好  
九、好  
十、好

好  
好  
好  
好  
好  
好  
好  
好  
好  
好



日まゝをたふして入る母あふとよし  
み眠てまゝに流る小川の聲  
み他甘あふまゝにおもひを  
言はぬすゝにおもひを  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
川に舟すまゝに舟すまゝに舟す  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ

多羅 拾月 梧桐 化粧 杉山 松本 一楽 一人 号子

おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ  
おのゝおのゝおのゝおのゝ

酒子 菅子 輔友 七友 七作 拾山 錦城 龍舟





Handwritten cursive script on the left page of an open notebook. The text is written in a fluid, connected style across approximately ten lines.

何 亦 人 何 老 人 何 老 人

Handwritten cursive script on the right page of an open notebook. The text continues from the left page, maintaining the same fluid, connected style across approximately ten lines.

何 亦 人 何 亦 人 何 亦 人



海加

カヒ 浦 南

スハ 嶺 北

コソラ 山 不

アミシタ 谷 南

タカトウ 晒 我

イタシ 嶺 南

マ 子 嶺

マツキ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

カヒ 嶺 南

相の...  
 浦富  
 幽茶  
 一  
 呼分  
 乙五

甲府 谷村幽蒙刀

木の...  
 呼分  
 乙五







